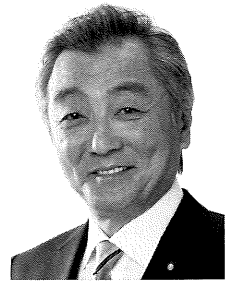


薬連ハイライム

年頭所感

自由民主党国会対策委員会委員長代理
衆議院議員

松本 純



新年明けましておめでとうございます。山本信夫会長はじめ、公益社団法人日本薬剤師会及び日本薬剤師連盟の役員並びに会員の皆様には、平成30年の初春をお健やかに迎えの心からお慶び申し上げます。

また、旧年中は大変お世話になりました。お蔭様で7期目の当選を果たすことができ、現在、自民党国会対策委員会委員長代理として、丁寧な審議を通じ、円滑な議事運営のため力を尽くしています。

さて、世界にも例のない少子高齢化が進むなか、国としては社会保障制度を維持していくためにも、医療・介護・生活支援等を包括的に確保する「地域包括ケアシステム」を構築することが喫緊の課題となっています。

薬剤師の皆様には地域における医療や介護、生活支援等の中で安全確保と医療の質の向上を図るために、患者さんから選ばれた「かかりつけ薬剤師」としてかかりつけ医を中心とする多職種と連携し、その責務を果たしていくことが大切であり、国民・患者さんの健康維持・増進という目的達成のため共に頑張りましょう。

医療技術の進歩・高度化など、医療を取り巻く環境が著しく変化しているなかで、平成28年度には処方箋受取率が71.7%となり、医薬分業は量から質の時代へと移り、薬剤師の役割があらためて大きく取り上げられています。一方で、医薬品の供給・販売については、政府の会議の中でもいろいろな意見が出されて、議論が進められています。薬価制度の見直しをはじめ、調剤報酬を含めた薬局の役割についての課題、ICT技術を利用した遠隔服薬指導や電子

処方箋などの患者さんの利便性から見た問題など、課題は山積しています。

そのようななか、薬剤師は期待されている社会的使命を全うし、国民・患者さんに身近な立場で、健康の維持・増進を図り、安全・安心を提供できる「かかりつけ薬剤師」としてその職能を発揮していただかなければなりません。

皆様方におかれましては、地域に密着した「かかりつけ薬剤師」として、患者の薬物治療を支援いただくことに加えて、「健康サポート薬局」の取組を通じて、健康に関する相談を幅広く受け付け、適切な専門職種や関係職種につないでいただくなど、地域住民の健康な生活の支援に日々取り組んでいただいていることと思います。

また、医療機能の分化や入院医療から在宅医療への円滑な移行が求められるなかで、患者に対する切れ目のない適切な薬物療法を実現するためには、これまで以上に病院薬剤師と薬局薬剤師の連携が不可欠になります。皆様方には患者さんの入退院時の情報交換等、地域での連携を進めて地域の薬局の機能強化にもオール薬剤師として取り組んで参りましょう。

経済再生には政治の安定が不可欠で、経済を引き上げること、その経済成長の上で社会保障制度が堅持されなければならないことを胸に本年も全力で頑張らせて参ります。

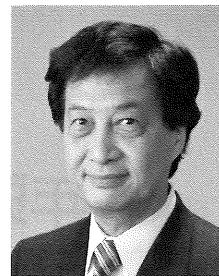
引き続き、皆様からの変わらぬご指導、ご鞭撻の程何卒宜しくお願い申し上げます。

本年も山本会長をはじめ日本薬剤師会及び日本薬剤師連盟の役員並びに会員の皆様にとりましてさらに良い年でありますようご祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。

編集部注) :

とかしきなおみ衆議院議員は、環境副大臣就任中のため、ご挨拶の掲載は控えさせていただいております。

平成30年度年頭所感



自民党組織運動本部 本部長代理
参議院議員

藤井 基之

新年明けましておめでとうございます。日本薬剤師会の会員の皆様には、お健やかに新たな年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、医薬品供給や医療提供に関する時事の問題を厚生労働委員会等で取り上げ、迅速かつ適正な対策の実施に努めるとともに、沖縄・北方問題特別委員長として、新たな分野に取り組むこともできました。また、自民党の総務副会長、組織運動本部の本部長代理として党の重要な運営にも携わってきたところです。今後ともこうした経験を糧に豊かな社会づくりに尽力して参りたいと思います。

さて、昨年は「ハーボニー配合錠」の偽造品が流通するという驚くべきニュースから始まりました。この偽造品は外箱や添付文書もない稚拙な品であったにもかかわらず、正規の卸売販売業から保険薬局を通じて患者の手許に届いたことは、看過されるものではありません。

国民の医薬品への不安や薬剤師・薬局の不信を解消するためにも早急な対応が求められ、厚生労働省

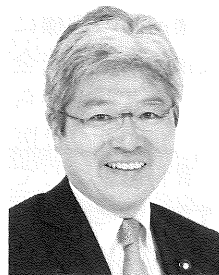
は直ちに検討会を立ち上げ、薬機法施行規則を改正する等の所要の措置を講じました。また、日本薬剤師会等の関係3団体は、「薬局間における医療用医薬品の譲受・譲渡に関するガイドライン」を作成し、その徹底を図りました。

この他、一部の調剤薬局チェーンによる保険の不正請求も残念な出来事でした。また、規制の見直しにより、病院敷地内への保険薬局の設置や誘致が進んでいることも、「患者のための薬局ビジョン」の達成への積極的な取り組みに逆行しかねないと、危惧するところです。

こうした状況が4月の医療報酬の改定に如何なる影響を及ぼすか分かりませんが、いずれにしても、皆様方が患者と真摯に向き合い、国民の信頼を高めていくことがより大事になると思います。

薬剤師の皆様方の益々のご活躍を祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。本年もよろしくお願い申し上げます。

年頭所感



衆議院議員・薬剤師

逢坂 誠二

明けましておめでとうございます。

山本信夫会長をはじめ、日本薬剤師会会員の先生方におかれまして、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、日本薬剤師会会員の皆様のご支援を賜り、昨年10月に行われた総選挙において、逢坂誠二は4回目の当選をさせていただきました。心から感謝申し上げます。皆様のご支援に応えるためにも、衆議院議員として全力で取り組む所存でございます。

逢坂誠二は、現在、衆議院予算委員会の野党筆頭理事、法務委員会委員などを拝命しております。党においては、政調会長代理を拝命し、立憲民主党の政策の実務的な責任者となりました。日本の政治は大きく変化を遂げようとしていますが、私たち野党の国会議員の責務は行政府の動きをしっかりと監視し、その行き過ぎを抑えるという役割を負っています。機械的な社会保障予算の削減など、政府の政策には負の側面もあり、監視と是正をしっかりと行っ

ていかなければなりません。

この原稿を先生方が読まれる時点では、中医協での2018年度の診療報酬と介護報酬の同時改定の議論は決着していると思われませんが、現時点で政府はこの診療報酬改定で全体の改定率をマイナスとする方針を固めています。その中で、医師や薬剤師などの技術料にあたる「本体」部分は微増としつつ、医薬品などの価格である「薬価」部分を大幅に引き下げ、差し引きでマイナスにする方向で調整が行われると聞いていますが、機械的に薬価を削減することは国民の健康や生命を損なうものであり、国民にとって正しい政治判断がなされるように働きかけていくことが私たち薬剤師資格を持つ国会議員の果たす役割だと改めて自覚し、取り組んでまいります。

本年も微力ではございますが、日本薬剤師会の会員の先生方のために精一杯働く所存でございます。この一年が皆様にとりまして良い年となりますように心からご祈念し、年頭のご挨拶と致します。